

評価の観点

○3つの観点から総合的に評価を行います。

□美術への主体的に学習に取り組む態度

美術の活動に意欲的に取り組んでいる。

- ・授業中の態度、制作への取り組みの様子。
- ・宿題、忘れ物確認。
- ・計画的に進める。
- ・作品提出日を守る。
- ・作品を大切にする。

□美術の思考力、判断力、表現力等

作品のイメージをスケッチしたり、新しいアイデアで表現している。

- ・アイディアスケッチ
- ・テーマの下描き作品

□美術の知識及び技能

①美術の創造的な知識及び技能

発想や構想をもとに造形的な視点を理解し、表現方法を創意工夫して制作している。

- ・基本的な表現方法  
(描く・つくるなど用具の扱い)
- ・総合的な作品の表現  
(創造・技能・計画など)
- ・ICT活用し作品鑑賞や表現の技法を学ぶ

②美術の鑑賞の知識及び技能

美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め、よさや美しさを感じ取り鑑賞している。

- ・ものを見る力  
(感想カード・鑑賞会など)
- ・鑑賞レポート

○これらを基本に、美術の授業に臨む姿勢を指導し、評価していきます。

学習の目標 指導要領から

○美術に興味をもち、楽しく美術に取り組み、意欲的に取り組みましょう。

○美しいと感じる心や創造する力を高め、様々な見方や考え方、発想・構想する力を身に付けましょう。

○表現の方法や素材の特徴などをとらえ、見方や考え方を広げ創意工夫して表現しましょう。

○美術作品や文化遺産などについて理解を深め、よさや見方を広げながら鑑賞しましょう。

学習の特色

○1年生の美術では、美術の基礎基本を大切にし、知る・見る・描く・作る活動を行う。

- ・ハッチング (鉛筆の表現)
- ・レタリング (文字の基礎)
- ・色の学習 (デザインの基礎)
- ・ステンシル (グラデーションリズム)
- ・一版多色木版画 (色の重ね刷り)

○2年生の美術では、自己表現を伸ばし、イメージを広げる制作活動を行う。

- ・自分と向き合う (自画像)
- ・木彫 (レリーフを施す)
- ・粘土 (イメージを形にして)

○3年生の美術では、理解や見方を深め、さらに表現力を高める制作活動を行う。

- ・視点の冒険 (校舎内の風景)
- ・棒による造形/水墨画 (イメージを伝える作品)
- ・ありがとうカード (デザイン)

※鑑賞レポート (全学年)

勉強の仕方

□美術学習の取り組み

- ・苦手意識や固定概念をもたずに、一生懸命取り組みましょう。
- ・先生の話聞くこと。(わからなければ質問すること)
- ・技術だけではなく、あらゆる感覚を使い表現をしましょう。
- ・美術館等で美しいものと会いましょう。

# 美術科 1年 年間計画

・1年生の美術は、中学生としての成長を考え、物の見方や感じ方を新鮮な見方で発見できるよう、美術の基礎・基本をベースにして授業を組み立てながら感性を育てていく姿勢を学びます。授業の受け方、ポイントなど美術教科に臨むうえで必要なことを学びます。

期	時数	内容
1 学 期	1 8	4月・【オリエンテーション】 1年生の美術授業についての取り組み方法と課題説明をします。
		4月・【岡本太郎 作品 鑑賞】 5月・【色の世界】(色の学習) 色の名前・種類と色の三要素について学びます。アクリル絵の具を使い、混色方法 筆の使い方・色の塗り方やデザインの技法を学びます。
		6月・【色彩のリズム】(ステンシル技法を使ったデザインバック) 画面構成や配色の組み合わせを考えたデザインの応用(グラデーション・リズム)に ついて学びます。美しい構成を考え、モダンテクニックのステンシル技法を使った 自分だけのオリジナルバッグをつくります。 7月・【文字のいろいろ】(レタリング) 文字のデザイン・基礎・基本の形を学びます。
夏 休 み	1 4	7月・【美術コンクールに向けての作品を制作する】(絵画) 各種コンクール(絵画)を選び制作し提出します。 (2学期の最初に提出)
2 学 期		9月・【言葉をデザイン】(平面デザイン) 10月 言葉の一部をレイアウトし、その言葉の意味とデザインとの調和を考えて書く 11月 ことを学びます。材料や用具を選択し、多様な表現方法を工夫して、ユーモア のある楽しい言葉の文字をデザイン制作します。  ・版画について【木版画・齋藤清 鑑賞】
3 学 期	1 3	1月・【マイワールド】(一版多色木版) 2月 自分なりの「思い・願い・夢・理想」を大切に、自由に表現することを学びます。 3月 色の重ね方によって多様な表現方法を工夫し、美しさを感じることを学びます。  3月・【生徒作品鑑賞】(鑑賞)
	4 5	授業時数合計 4 5 時間

# 美術科 2年 年間計画

・2年生では、1年生での基礎学習を応用してより個性を活かし、様々な感性を育むことを目指して学びます。  
1年次の美術の基礎基本の上に表現の可能性を広げ、特に個々の感性を伸ばし発見できることを学びます。

期	時数	内容
1 学 期	13	4月・【オリエンテーション】 2年生の美術授業についての取り組み方法と課題説明をします。
		5月・【つくって使って味わう工芸作品】【自画像】(鑑賞) 5月・【自分と向き合う】(絵画) 6月 自画像を見つめ、自分の心の中にある『喜怒哀楽』や自分の手から広がる夢や希望や不安など内面も織り交ぜた表現を様々な技法の表現(例・モダンテクニック)を使い工夫し、自分の心の中にある不思議な世界を、自由な感覚でより効果的に表現することを学びます。
夏 休 み	13	7月・【美術コンクールに向けての作品を制作する】(絵画) 各種コンクール(絵画)を選び制作し提出します。 (2学期の最初に提出)
2 学 期		9月・【木で表そう】(木彫・工芸) 10月 木製の工芸作品を制作します。アイデアスケッチ作成や彫刻刀を使用するときの安全確認をします。 11月 彫りの効果を活かしながら表現します。創意工夫し、つくる楽しさや喜びや生活で使える建築の機能性の良さを学びます。 12月・彫刻について【ロダン・考える人 鑑賞】
3 学 期	9	1月・【心のイメージを形に】(彫刻) 2月 心のイメージを動物や人物から観察し、特徴をとらえて、そのモチーフから感じる美しさや感動を表現することを学びます。 3月 彫刻の表現や素材(粘土)に触れ、その様々な感覚を味わい、つくる楽しさや喜びを学びます。 3月・【生徒作品の鑑賞】(鑑賞)
	35	授業時数合計 35 時間

## 美術科 3年 年間計画

・3年生の美術授業では、個々の表現力を発揮し、美術の基礎基本を見直すこと。これまでに表現してきたことを応用して制作し、創造力を高めることを学びます。今までの中学校美術の集大成となる学習として、美術表現を深めていくことを学びます。

期	時数	内容
1 学 期	1 3	4月・【オリエンテーション】 3年生の授業についての取り組み方法と課題説明をします。
		4月・【絵画作品／ターナー・モネなど】(鑑賞) 5月・【視点の冒険】(絵画) 6月 校舎内の風景を、見上げたり・見下げたり、違う視点から表現する。 7月 風景画の美しさを自分の感じる視点から制作します。
夏 休 み		8月・【美術コンクールに向けての作品を制作する】(絵画) 各種コンクール(絵画)を選び制作し提出します。 (2学期の最初に提出)
2 学 期	1 0	9月・【棒による造形】(棒の立体造形制作) 10月 木の造形の美しさを建築に生かす建築家「隈 研吾」を鑑賞する。 11月 棒による造形は生活に生かされ建築物にもつながることを学ぶ。 12月 木を組み合わせることで立体造形の美しさを知り、建築の機能性・立体造形の基本を制作する
3 学 期	1 2	1月・【水と筆を操る】(水墨画) 2月 筆の使い方、墨の濃淡、線描法・没骨法などの技法を使い、色紙に豊かな表情を表現します。最後に1・2学期に制作した篆刻で押印をし、完成させます。 3月・【伝えよう「ありがとう」の気持ち】(メッセージのデザイン) 日ごろからお世話になっている人に、感謝の気持ちを伝える。紙のいろいろな使い方を学び、創意工夫したメッセージカードを制作する。 3月・【生徒作品の鑑賞】(鑑賞)
	3 5	授業時数合計 35 時間